

第39回入学式 式辞

ここ数日の暖かさで桜の花も満開となり、新芽の緑も日に日にその濃さを増してくる今日、広島県議会議員 渡邊典子様、向井PTA会長様をはじめ、日ごろより本校教育の推進に大変お世話になっているご来賓の方々のご臨席と、多数の保護者の皆様方のご列席をいただき、広島市立落合中学校 第39回入学式を挙行できますことを、教職員を代表いたしまして、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

123名の新入生の皆さん、入学おめでとう。本日は落合中学校の生徒として、大きな夢をいただき、スタートする意義のある日です。皆さんの入学を、先生はもとより、生徒全員が歓迎します。皆さんが落合中学校の生徒としての誇りと自覚を持って、これからの中学校生活を充実したものになることを期待しています。

小学校と中学校の切れ目のことを節目といいます。また三年後にも節目がやってきます。そのあとも幾たびの節目がやってくるのです。次のステージに上がるために私たちは夢とか希望を持ち毎日を過ごしていきます。そのステージで夢や希望を実現し、そして幸せになるために、私たちはいつも学んでいると思います。学ぶということは幸せになることと考えています。本校では「学びから逃げない」というメッセージを生徒全員に送っています。どうか学びから逃げないでください。

本校ではこんな生徒になってほしいという願いが四つあります。一つめは元気にあいさつができる生徒。あいさつは心と心をつないでいきます。二つめには身だしなみを整えることが出来き、時間を守ることが出来る生徒。三つ目は人の心の痛みがわかり、「ごめんなさい」・「ありがとう」が言える生徒。他人を思いやる気持ちや感謝の気持ちを持つことが大切なのです。最後は先ほどもいいましたが「学びから逃げない」生徒。この四つを君たちに送ります。

終わりにになりましたが、保護者のみなさま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。中学校時代は、心も体も大きく成長します。子どもたちの豊かな成長を確かなものにするためには、学校と家庭、そして地域との連携が不可欠です。子どもたちの豊かな成長を願い、私たち教職員一同、保護者の皆さまや地域の皆さま方の付託にこたえ、大きな信頼を得られるよう努力を惜しまない所存でございますので、格別のご協力を賜りますようお願いいたします。

夢いっぱいの良き入学を心から祝福し、式辞といたします。

平成26年4月9日 広島市市立落合中学校長 原之園 和弘